

水道管の凍結防止対策について



<凍結断水の原因>

- 強い寒さが続き、**宅内の水道管内の水が凍ると**、体積が膨張して水道管に亀裂が入り、氷が溶けると漏水することがある。**地域で多数漏水が発生**すると、配水池の水がなくなり断水につながるおそれがある

<仮設住宅等への対策>

- **仮設住宅は寒冷地仕様**であり、地上の露出部分は保温材を巻くなど、凍結しにくい仕様
- 応急復旧した**水道本管等の地上の仮配管は、凍結しにくいよう大きな口径を採用**

<過去の事例>

- 県内では、令和5年1月に、最低気温マイナス4℃を下回る時間が長く続き、1万戸を超える凍結断水が発生
 - ・居住している家屋における水道管の凍結防止処理が不十分
(屋外の「露出配管」や「給湯設備の配管」、屋内の「床下配管」や「保温材が巻かれていない配管」等で漏水発生)
 - ・空き家の止水栓の閉栓が不十分など



保温材が巻かれていない
露出配管の漏水



保温材が巻かれた仮設住宅の配管

寒波到来が予想された際には、市町とともに集中的に効果的な広報を実施

水道管の凍結防止対策について

水道管の凍結・破裂に注意！

- ☑特に、最低気温が**マイナス4℃以下**になるときに注意
- ☑空き家も含め、止水栓の閉栓に努める

凍結を防止するには

- ☑ 水道管に保温材を巻き、外気に直接ふれないようにする
- ☑ おやすみ前に蛇口から糸を引く程度の水を流しておく



凍結したときは

- ☑ 自然に溶けるまで待つ
- ☑ 凍結したところにタオルを巻き付け、上からぬるま湯をゆっくりかける

